

門 1365
ル 1

大皇國の古傳説ハ天地開闢より萬物と始り給ひ神明御所爲と載られ
實ニ天下乃寶典漢天竺諸蠻國へも諭さばはき事也其内國々風土記ハ
既く失ふとも出雲國の全く傳れる所造天下大神命此鎮坐る御國柄小
依れる者此國々郷々神の惠も洩れらる無たれば天下又住と住む人

出雲風土記假字書 全三冊

片時も神恩を忘るべき非ぞ故此書と誰も讀安く草假字と轉され
其朝夕又唱てかの上古之世未有文字貴賤老少呂相傳前言行存而不忘
といひむ古もも此益神典と仰ぎ尊とぬきいととれらるべきかたむ穴賢

安政三年八月



紀伊國在田郡

小林敬義謹誌



玉藻志原一雲國の世たらぬ
しゆ鏡やつらもみまめ風お記
し神代も事まらやた
るて其まのじりあはる
なまらしよらるまら
へあはるまらる
もきる事らる
まらるたはるの假字書

○出雲風土記假字書

○序一

今も昔も此の如く朝
暮も此の如く暮
と云ふは此の如く天下に
ふかき世にありて後唐字
安政三年八月

四條前大納言藤原隆生卿

作草文清書

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

Handwritten cursive text in a single column on the right page. The characters are highly stylized and difficult to decipher, but appear to be a continuous line of writing.

Handwritten cursive text in a single column on the left page. The characters are highly stylized and difficult to decipher, but appear to be a continuous line of writing.

得而難可誤。

老オユ末細かまシ又エフ技オモ業シ以ガム思サイ以ギウ。調亦源古をシ裁シ定ガム。まシるシ山古

野ヤ濱ヒム浦ホみホとホろホ。鳥テウ獸シウの捷す捷み捷か捷。魚ギョ貝バイ海カイ菜サイ其タ類ダ

良良ハムハムタタ。わワ々々急急多多ふふととくく陳陳どど。抑抑れれどどももややむむおおとと瓜瓜

獲獲ええざざららいい。粗粗梗梗際際ををららぎぎてて。以以てて記記趣趣ををななんん。

出雲出雲ととななづづととるるゆゆゑゑハハ東東水水臣臣津津野野命命此此ハハ雲雲

立立ふふ此此ととふふととぬぬみみにに給給ひひるる。故故ヤヤククモモタタウウイイツツモモ

出雲風土記假字書

合神社三百九十九所

一百八十四所 神祇官小なり。

二百一十五所 神祇官小なり。

九郡 郷六十一。里一百七十九。

餘戸四 驛家六 神戸七。里一十二。

意宇郡 郷一十一。里三十。餘戸一。驛家三。

神戸三。里六。

嶋根郡 郷八。里二十五。餘戸一。驛家一。

○出雲風土記假字書

秋鹿郡郷四。里一十二。

神戸一。里一。

措縫郡郷四。里一十二。

餘戸一。神戸一。里二。

出雲郡郷八。里二十三。

神戸一。里二。

神門郡郷八。里二十二。

餘戸一。神戸一。

里一。

飯石郡郷七。里一十九。

仁多郡郷四。里一十二。

大原郡郷八。里二十四。

右此より乃郷の字々靈龜元年此式ふよりり。
里を改めたる郷と。其郷の名乃字々神龜
三年民部省此口宣成かぬりてあれを改む。

意宇郡

合郷一十一。里三十。餘戸一。驛家三。神戸三。

母裡々 本字文理

屋代々 今依茶用

楯縫々 今依茶用

出雲風土記假字書 意宇郡

安未々 イサキノニクモチ
今依前用

山國々 イサキノニクモチ
今依前用

飯梨々 モトノジ
本字云成

舍人々 イサキノニクモチ
今依前用

大草々 イサキノニクモチ
今依前用

山代々 イサキノニクモチ
今依前用

拜志々 モトノジ
本字林

宗道々 イサキノニクモチ
今依前用

以上一十一郷別小里三。

餘戸里

野城驛家

黒田驛家

宗道驛家

出雲神戸

賀茂神戸

忌部神戸

○出雲風土記假字書

意字となはたさるゆゑに國ひにませる八束水石

津野命此のまゝぬらふ。八雲の河出雲國を獲

布乃さくらにさるるも。初國ちひさくつ

せり。あつらふぬまむとみりふむひて。携袂新

羅の御持が。玉乃らまうらふらふとんれば國の

餘ありと詔ひく。童女物組所取

おふぬのきたつたわさて。幡薄はつりこひて。

みゆり子綱うらめさて。震忌者へねくふ。

河船乃もそろくに。たにこく空引未々縫

る國の。去豆の打絶より。八百丹許築の所

崎きり。かきてかきさく。かき。石見國を

出雲國とのさうひきる。名ハ佐比賣山とれり。

す。さうらひら網を。菌の長候とれり。又

小門さる玉を。國のりまうありやとんれた。

くにのりまうありとみり給ひて。童女比胸組

とろし。大魚の支太衝別て。幡薄屠

祖 アミツヒ ユノミコト 津おや天津日子命此詔イリタマとく。吾志アガの事鎮りま坐さむ社ヤシロとみ詔まひタニひカレヤシロ。社カレヤシロといふ。神龜三年字シムキノミヤセハシロシと
彦代ヤシロと改り改たむ。

栢縫タテマヒの郡家ヒムカシミナニサムジフニ北東南三十二里一百八十步。布都怒志命シムミコト乃天の石免楯の直い直とく直縫ヌひ直や直給タニひカレま。栢縫タテマヒといふ。

安来ヤスキの郡家ヒムカシミナニサムジフニ北東南二十七里一百八十步。神須佐乃鳥命カミツノミコト乃天の壁免立の極か極き極を極山極き極の廻り坐ま坐す坐き坐。其

此處トキに来キま坐し坐て詔イリタマとく。吾志アガの事鎮りま坐さむ社ヤシロとみ詔まひタニひカレヤシロ。社カレヤシロといふ。神龜三年字シムキノミヤセハシロシと
彦代ヤシロと改り改たむ。

○出雲風土記假字書

天アよりカひハ地ツチ不レ成ル也ナ。立タチてハいハさサ多クびビ居イてハ
嘆ナゲふヨルヒル。晝ヒル夜ヤ半ハ。幸幸 若若 歛歛 所トコロをスるル也ナ。

無無 如カ斯シとシるル。後ノ日ヒ成レ経ケル。純イカとシてハ後ノ
懐懐 慨慨 興興 麻マ呂ロ子シ。箭ヤ 銳ホ 鋒ホ をコ
いキきキとシるル。此コノ心ココロをオしシてハ。麻マ呂ロ子シ。箭ヤ 銳ホ 鋒ホ をコ

えスびビをオしシるル。此コノ所トコロ又マをオしシるル。やウとシてハ拜イらレりトすル。云云
多タらク。天アメはツ神カミ子シ又マ百ヒャク萬マン。國クニ津ツ神カミ子シ又マ百ヒャク萬マン。並並

て常コノ國クニ不レ然レ也ナ。坐坐。三ミ百ヒャク九ク十ジュ九ク社ヤシロ。及及 海ウミ 若若
は此カニ神カミ等トナリ。大オホ神カミ乃ニキミ和ニ魂ミタマとシてハ。荒アラ魂ミタマハハ。皆皆

悉悉 とシてハ。小コ猪イノ麻マ呂ロがハ。小コひヒ子シむム所トコロ不レとシりテ給タマへタ。ま
良良 神カミ靈タマおシるル。まマとシばバ。吾ワがハ。いハとシるル。こコと

此此 以以 神カミ等トナリのノ神カミ。こコとシてハ。知シらレむル
者者 中中のノまマはハ。其ソノ時トキ須ス臾シりテ。鰐ワニ百ヒャク餘リ。静シヅかカ一ヒト門カド

の鰐ワニ。城シロかカとシてハ。めメとシてハ。やウとシてハ。いハとシるル。おシるル
居イ下カ 從従 進スむム。退ヒクク。猶ナホかカとシてハ。居イるル。の

其ソノ時トキ神カミとシてハ。中中のノ火ヒ。鰐ワニとシてハ。及及 殺キすス
捕捕ひヒ 訖訖 此此 百ヒャクとシるル。のノまマとシてハ。いハとシるル。おシるル

大草々オホクサノサト那家ナガの南西二里一百二十步ミナミニシニリイヒヒタニシブ。須佐乃乎命スサノハミコトの御ミ子コ。青幡アヲハタ佐久佐日古命サクサヒコノミコト坐イマセ。大草オホクサと云云。

山代々ヤマシロノサト那家ナガの西水三里一百二十步ニシキタサマリイチヒヤクニシフブ。天下アマノシタつくりし所造

大神オホカミ。おほきもちオホキモチ此命コノミコトの御子ミコ。山代日子命ヤマシロヒコノミコト

坐イマセ。故コト山代ヤマシロといふ。とあるもち正倉マユクラあり。

拜志ハヤシ々那家ナガの正西二十一里二百一十步マシニシフイチリニヒヤクイチジフブ。天下アマノシタつくりし所造

大神命オホカミノミコト越乃ヤクナ八口ヤクナとむすむ将平と云云。幸幸

まゝ時トキ。此此處處のころの木キ志茂げねり。其時ソノトキあり

給タミり。吾心アガミココロの波夜志ハヤシ中ナカ詔ノリタテひき。有林カレハヤシと云云。

神龜シムキ三年字キノミトト云シトレシと拜志ハヤシと改アラツむ。正倉マユクラあり。

宗道シノヂノサト々那家ナガ乃正西三十七里マシニシサムジフシチナリ。天天下下所造所造

大神命オホカミノミコト此此給給ひし猪像シノカマ南乃山ミナモトふ

一丈ヒトツ長ナガ二丈七尺ニヂヤウシチシヤク。一丈イチヂヤウ周メクリ又ナカ丈ナカ

七尺シチシヤク。一丈ヒトツ長ナガ二丈八尺ニヂヤウハチシヤク。八尺ハチシヤク周周又ナカ丈ナカ

一尺イチシヤク猪シノ狐イヌおひし追犬イヌの像カマ長ナガ一丈イチヂヤウ又ナカ四尺シチシヤク周周

一丈九尺イチヂヤククシヤク。石イシと爲なり。猪シノ犬イヌふ異なり。

ふと^ナ空^{イニ}。今に猶^{ナホ}あり。かれ^シ宍道^チと^云。

餘戸里^{コホリヤ}。那家の正東六里二百六十步。神龜四年の

編戸^依ふありて。天平里^{カレ}。あ^餘り^アべ^云と^{ホカ}り^{コホリ}。他那

も。ま^且か^ゴくの如^フ。

野城驛^{キリウツヤ}。那家^{コホリヤ}。正東二十里八十步。野城大津のま^坐

と^依ふ^故と^ヌり。か^ヌき^キ野城^云と^云。

黒田驛^{クロダウツヤ}。那家^{コホリヤ}。今^同の那家^{コホリヤ}。西^ニ水^シ二里^{キタ}。黒田村^{クロダムラ}

ふ^有あり。つ^土ら^體れ^イを^イ黒^ク田^ロと^故り^タ。か^故き^ク黒^ク田^タと^云り^云。

此處^此。此驛^此。即^即。号^号。黒田驛^{黒田驛}とい^いひ

き。今^今那家^{那家}。東^東ふ^東に^にあり。今^今驛^驛の^の名^名黒^黒田^田

名^追と^追あ^追ひ^追の^追。

宍道驛^{シノダウツヤ}。那家^{コホリヤ}。正西三十里。名^ナが^説と^説く^説こと^サ々^サ乃^サ

如^如。

出雲神戸^{イツモノカムベ}。那家^{コホリヤ}。南^南西^西二里二十步。伴^伴持^持奈^奈根^根乃^乃

麻^マ奈^ナ子^コふ^坐ま^坐る^坐。熊^シ野^メ加^カ武^ム呂^ロ乃^ノ命^ノと^命い^命は^命の^命組^組く^組於^於

所^取取^取。天^ア下^メは^下く^下く^下く^下。大^オ穴^ホ持^チ命^ノと^命二^二所^所の^所

大神等に依奉。故カムベ。他ホカ。郡等郡の神カムベも且かく如之。

賀茂神カモ戸カムベ。郡家コホリヤの東南シホカシ三十四里ミヤサミ。天テ下カ所造ミコト。

らオホカミ大神命ミコトはミ河カ邊ヘ須ス賀カ日子命ヒコノミコト。城カ。

らカきの賀茂社モノヤシロは坐。此カミ神カムベの神カムベ戸カなり。カモ

鴨カモと云神シム龜キ三ミ幸キチ字ジと賀茂カモと改。即カモ。

とら正倉シラなり。

忌部神イムベノカムベ戸コホリヤ。郡家コホリヤ正西ニシ二十一里ニヒヤク二百六十步シヤク。國造クニミヤヅク。

神吉詞カミヨゴトを奏に朝廷ミカドみ参向すトキ。御ミ沐カ。忌

里サトなり。有カレ忌部イムベと云。即カハノベ。湯ユ。

あり。出湯イデユみ在る所トロロ。海陸ウミカクサふ兼わ故り。かオトコは男女ヲメ。

老オキ少コ或オホの道ミチ路カ小コ津ツなり。あ或る海ウミの津洲。

日ヒ小コ津ツと集ひイチ市チ成成なり。半ハち續り紛たり端。

あ樂らヒトそヒぶ一きヒを濯げカら形なり容。

正正。ふ再らアムび万は病れ病る病中ナカの病。

小コみ除どイニレる至。古イニレより至今イニレふ至い至る至ま至で至。驗シレレを至得至ざる至。

寺

あところ。カレヨリヒト 號 クスレキミユ 曰

教皇寺。舍人みゆ中にある。郡家の正東二十五里

二百二十歩五層の塔と僧あり。教皇傍に

造 所 散位大初位下暖首押猪が

祖父あり。

新造院一所山代の中にある。郡家北西山四里三百

歩。巖堂と僧あり。置若自熊が

所 ところあり。出雲北神戸の置若猪麻呂が祖あり。

新造院一所山代の中にある。郡家の西山二里

巖堂と僧あり。飯石郡に少

領出雲臣弟山が住る所あり。

新造院一所山國の中にある。郡家の東南三十

一里二百二十歩三層の塔と僧あり。

置部根緒が住る所あり。

熊野大社 夜麻佐社 賣豆貴社

加豆比乃社 由貴社 加豆乃高守社

社

狹井社	宗道社	市系社	布辨社	多乃毛社	野城社	伊布夜社	都俾志呂社
狹井高守社	野代社	久末社	斯保孫社	須多社	久多英社	支麻知社	玉他湯社
宇流布社	賣布社	布吾孫社	意陀支社	真名井社	佐久多社	夜麻佐社	野城社

伊布夜社	同布自索社	意陀支社	詔門社	石坂社	山代社	宇由比社
由宇社	野代社	前社	楢井社	佐久佐社	調卷社	支布佐社
布自索社	佐久多社	田中社	速玉社	多加比社	同社	毛社乃社

以上の四十八所々及び神祇官ふり。

山

那富乃夜社 支布佐社 國系社

田村社 市穂社 同市穂社

仔布夜社 阿太加夜社 湏多閑社

河系社 布宇社 末那為社

加和羅社 笠柄社 志多極社

食師社

以上の一十九所ハ。並社祇官ふりて。

長江山那家北東南八十里水精あり。

青垣山那家北正東八十歩とびひり。

高野山。あほりや乃正東一十九里。

熊野山。こもりやの正南一十八里槍擅り。いん甲

熊野大神お坐

久多莫山那家北西南二十三里社あり。

玉池山那家北西南二十二里社あり。

祇名植山那家の西山三里一百二十九歩。さき

八十丈周六里三十二歩。東に松あり。三方ふりて

づ。一水乃源ハ仁多那の玉嶺山より出代。三水合
りて。水乃流々海入る。幸魚仔を以あり。

筑陽川源ハ那家の正東一十里一百歩。萩山より
出。水乃流々海入る。幸魚あり。

意字川源ハ那家の正南一十八里。鹿野山より出
て。水乃流々東より海入る。幸魚仔を以あり。

野代川源ハ那家の西南一十八里。須我山より出
て。水乃流々海入る。

玉作川源ハ那家の正西一十九里。拜志山より出
て。水乃流々海入る。幸魚あり。

赤侍川源ハ那家の正西二十八里。和志山より
出。水乃流々海入る。幸魚あり。

宗道川源ハ那家の正西三十八里。幡屋山より出
て。水乃流々海入る。幸魚あり。

津間拔池。周二里三十歩。亀野芥菜あり。

池

出雲風土記假字書

道通

生名猪池周一里山ふちがれて海入り。

門以後伯耆と出雲と二玉の堺東より西にゆく。

粟嶋推松多幸本小竹生崎等此にあり。

砥神嶋周三里一百八十歩高き宇丈推松葦薙

頭高都波師太等の草あり。

加茂嶋。既 磯あり。

子嶋。既 磯あり。

羽嶋。比佐木多幸本葦薙頭高あり。

塩指嶋。蕨螺子あり。

野代海中の嶋。周六十歩。中央土志あり。四方

並 磯あり。中央二十掬。半は本一株あり。

其磯小螺子海松あり。

茲より西乃候。或 峻 堀。或 平土

て。並是れより道の傍にあり。

國形東の堺。刻ふ通うて。四十一里一百八十

歩。大系那比。林垣嶋。通うて。三十三里

○出雲風土記假字書

○十九

二百步。出雲郡の堺。佐雜崎。小通。三十二里。
三十步。嶋根郡乃。朝酌。小通。四里。
二百六十步。

前件一郡。入海。乃南。是。國勢。則。

郡司。至。帳。无。位。海。臣。

少領。七。位。上。勲。業。出。雲。臣。

皇。政。外。少。初。位。上。勲。業。林。臣。

擬。皇。政。無。位。出。雲。臣。

嶋根郡

合郷八。里。二十五。餘。戸。一。驛。家。一。

山口郷。今。依。前。用。

朝酌郷。今。依。前。用。

手澤郷。今。依。前。用。

美保。今。依。前。用。

方。結。今。依。前。用。

加賀。本。字。加。加。

所造 オホカミノミコト 大神命の詔 イタタミ 云々。此國 コノクニ を造 ツクリ 丁寧 テイネイ 所造 ツクリ 云々。此國 コノクニ を造 ツクリ 丁寧 テイネイ と物 モノ 付 ツケ せ給 タマヒ ます。國 クニ ち ニ りと シ 詔 イタタミ 云々。ひ ヒ ぎ ギ。今 イマ 此 コノ 人 ヒト ち ニ 及 ツキ ば バ ち チ り リ て テ 手 テ 條 ジョウ 郷 キョウ と ト 云 イハ ふ。即 ソレ ち チ 正 マサ 倉 クラ あり。

美保郷 ミホノサト 乃 ナリ 家 ヤ の正 マサ 東 ヒガシ 二十 ニジュウ 七 シチ 里 リ 一 イチ 百 ヒヤク 六 ロク 十 ジュウ 四 シ 步 ブ。天 アメ 下 ノ 所 トコロ 作 ツクリ 乃 ナリ 大 オホ 神 カミ 命 ノミコト。高 タカ 志 シ 乃 ナリ 國 クニ 又 マタ 坐 イマス 神 カミ 命 ノミコト。久 キウ 辰 テン 爲 ナリ 乃 ナリ 子 コ。奴 ヌ 索 ソク 宜 キ 波 ハ 比 ヒ 賣 メノ 命 ノミコト。小 コ 乃 ナリ 神 カミ 命 ノミコト。伊 イ 穗 ホ 須 ス 美 ミ 命 ノミコト。乃 ナリ 神 カミ 命 ノミコト。乃 ナリ 神 カミ 命 ノミコト。乃 ナリ 神 カミ 命 ノミコト。

美保と云ふ。

方 カタ 結 ツキ 郷 キョウ 乃 ナリ 家 ヤ 正 マサ 東 ヒガシ 二十 ニジュウ 里 リ 八 ハチ 十 ジュウ 步 ブ。乃 ナリ 子 コ 國 クニ 忍 ニ 別 ワケ 命 ノミコト の詔 イタタミ 云々。乃 ナリ 子 コ 國 クニ 忍 ニ 別 ワケ 命 ノミコト の詔 イタタミ 云々。乃 ナリ 子 コ 國 クニ 忍 ニ 別 ワケ 命 ノミコト の詔 イタタミ 云々。乃 ナリ 子 コ 國 クニ 忍 ニ 別 ワケ 命 ノミコト の詔 イタタミ 云々。

加 カ 賀 カ 郷 キョウ 乃 ナリ 家 ヤ 乃 ナリ 小 コ 西 セイ 二 ニ 十 ジュウ 四 シ 里 リ 一 イチ 百 ヒヤク 六 ロク 十 ジュウ 步 ブ。乃 ナリ 子 コ 國 クニ 忍 ニ 別 ワケ 命 ノミコト の詔 イタタミ 云々。乃 ナリ 子 コ 國 クニ 忍 ニ 別 ワケ 命 ノミコト の詔 イタタミ 云々。乃 ナリ 子 コ 國 クニ 忍 ニ 別 ワケ 命 ノミコト の詔 イタタミ 云々。乃 ナリ 子 コ 國 クニ 忍 ニ 別 ワケ 命 ノミコト の詔 イタタミ 云々。

加賀社 爾佐社 爾佐能加志能為社
 法吉社 生馬社 友保社

以上の十四所ハ並神祇官小なり。

大場社 大場川邊社 朝酌上社
 同下社 奴索彌社 椽見社
 大井社 阿羅波比社 三保社
 多久社 蛸堵社 同蛸堵社
 質留比社 方結社 玉結社

川系社 虫野社 持田社
 加佐奈子社 比加夜社 須茂社
 仔奈頭免社 仔奈河氣社 御津社
 比津社 玖夜社 同玖夜社
 田系社 生馬社 布奈保社
 加茂志社 一夜社 小井社
 加都麻社 須衛都之社

以上の三十五所ハみ凡神祇官小なり。

山

布フ自キ根シ美タ高ケ山コ那ホ家リの正マ南ミ七キ里リ二ニ百ハ一ク十イ步フ之タニハ百ク七ハ十ク丈ク周リ一ト十ハ里ト輝トあり。

女メ岳タ山ケ那コ家ホの正マ南ミ二ニ百ハ三ク十イ步フ。

乱ム野シ那コ家ホ北キ西ニ南ミ三サ里リ一イ百キ步フ。樹キ木キをシ。

牟ム志シ山ヤ那コ家ホ乃キ一イ里リ。

大オ倉ホ山ヤ那コ家ホ北キ東ヒ小シ九ク里リ一イ百ハ八チ十ジ步フ。

糸イト江エ山ヤ那コ家ホ北キ東ヒ小シ二ニ十ジ六ジ里リ二ニ十ジ步フ。

小コ倉ケ山ヤ那コ家ホの正マ西ニ二ニ十ジ四ジ里リ一イ百ハ六チ十ジ步フ。

川

凡オ諸ホ山シ野ノ小コ草ク木サをシ。白ヲ本ケ麥ヤ門ミ冬ス藍ア漆キ五シ。

味ネ子カ苦ツ冬ラ獨ウ活ド者タ根タ薯カ蕪カ鼻ト解コ狼ラ毒チ杜ハ仲ヒ芍エ藥ト紫ク。

胡ザ百ホ部ド根ツ石イ斛ク藁ソ本ラ藤シ李フ赤ガ桐ス白モ桐ア海カ拓キ搗キ楠キ揚キ。

松コ栢カ禽ト獸ツ之ケ子ダ之モ鷲オ字ハ或シ隼ヤ山ミ雞ド鳩リ雉キ猪ス。

麋カ猿サル飛ム鼈サ之ビ。

水ミ草ク川サ係ハ二ニつフ。一ヒ水トの係スも那ネ家リの東ヒ三サ里リ一イ百ハ十ジ。

步ブ牟ム志シ山ヤ之ノ出イ川川一ヒ水トが係スも那ネ家リの西ニ小コ。

六ロ里ク一イ百ハ六チ十ジ步フ。同オト牟ム志シ山ヤ之ノ出イ川川二ニ水ト。

○出雲風土記假字書

○九五

合アヒて南ミナミ小コ倉クラ山ヤマより流リ入ルる海ウミ入ルる。新フナあり。

長見川ナガミガハ源ヒナホト那家ナカヤ北キタ東ヒガシ小コ九ク里リ一イチ百ヒヤク八ハチ十ジュウ步ブ。大倉山オホクラヤマ上ノ

里イデ出イデく東ヒガシ又マタ流リる。

大島川オホトリカハ源ヒナホト那家ナカヤの東ヒガシ小コ一イチ十二ヒナトウ里リ一イチ百ヒヤク一イチ十ジュウ步ブ。基所ヒカヌ

山ヤマより出イデく。南ミナミ小コ流リは二フタ水スチ合アヒひく東ヒガシ小コ倉クラ山ヤマ

より出イデく西ニシ小コ流リは二フタ水スチ合アヒひく東ヒガシ小コ倉クラ山ヤマ

野浪川ノナミガハ源ヒナホト那家ナカヤ北キタ東ヒガシ小コ二フタ十六ジュウロク里リ三サン十ジュウ步ブ。系イト江エ山ヤマ

より出イデく西ニシ小コ流リは二フタ水スチ合アヒひく東ヒガシ小コ倉クラ山ヤマ

加賀川カガハ源ヒナホト那家ナカヤ北キタ西ニシ小コ二フタ十四ジュウシ里リ一イチ百ヒヤク六ロク十ジュウ步ブ。小倉

山ヤマより出イデく西ニシ小コ流リは二フタ水スチ合アヒひく東ヒガシ小コ倉クラ山ヤマ

多久川タクカハ源ヒナホト那家ナカヤの西ニシ小コ二フタ十四ジュウシ里リ小倉山コクラヤマより出イデく。

西ニシ小コ流リは二フタ水スチ合アヒひく東ヒガシ小コ倉クラ山ヤマ

六川ムカハより出イデく西ニシ小コ流リは二フタ水スチ合アヒひく東ヒガシ小コ倉クラ山ヤマ

法吉坡ホフキノツミ周五里フカヒコ源ヒナホト七尺斗シチシヤクバカリ鴛鴦ウヅウ龜鴨カメカモ新フナ須ス我ガ毛モ

り。夏ナツ小コ倉クラ山ヤマより出イデく西ニシ小コ流リは二フタ水スチ合アヒひく東ヒガシ小コ倉クラ山ヤマ

前マヘ系イト坡カハ周二フタヒ百ヒヤク八ハチ十ジュウ步ブ。鴛鴦ウヅウ龜鴨カメカモ新フナ須ス我ガ毛モ

張回池。周一里三十步。

乾池。周一里一百一十步。蔣生あり。

美能夜池。周一里。

口池。周一里一百八十步。蔣コモあり。

敷田池。周一里。鶯シあり。

南を海。西より東ふゆく。

朝酌。促戸の渡を。東ふ通道あり。西に平系あり。中

央を渡を。釜坂。東西ふくく。春。秋。大。

このひろりの魚小 雜は出入イデイの時トキ々々

釜ウヘの邊邊に來來渡渡。駱駝駱駝。風利水

流流る。釜ウヘ中中づる。白魚シロヲを乾る。

小被捕捕る。魚ウヲより藻モバとる家イつ開る。

まろ。ひと集市人ひてお乃自然づる。麁イチカラを成る。是コレより

ひ以む東。大井オホキ渡ノふハニ。あ至ひ間びキタ。南ミナミの二ツク渡ハニ。

並並みシロヲ白魚ヲ水ミル松ルを捕とる。

朝酌。渡アハ度クミさ八十ソク歩ツ斗バカリ。國クニ廳ニより海ウミ迄ツラゆ通く道。

嶋シマと云云今乃人ヒト於オや誤まタりテ携タりシてシる。
土地 豊 沃 邊 二ツノタニト
此コノ外ホカ茅チク蒨ク頭ハギ蒿ギ落フキのタビ狭ヒい生た靡び即たり。す即る
ちニキ牧カあり。陸クヌカを去さサムリると三里。

蝦ムカデ蟧シニ周五里一百三十步。多タカかニ古ヤウをヲ修ダり
い云。蟧タコ蟧シメ鳩シメ小タコ蟧ムカデあり。蟧ムカデを食ら来ひ来り来き来く。
此コノ嶋シマ小止や居りカレムカデシニ。云云。東ヒカシ邊ホトリをカキ
社ヤシロ外ホカハ皆みオホミ多ライハ土體豊沃クサキ。杖杖

疎クハ桑クハ麻マと豊富コノシニ。所所謂謂。是是嶋嶋里里之之れ是なり。
陸クヌカを去さニリ一百百步步。す即る即ち即此コノ嶋嶋より。
伯ハ耆キ國クニ郡クニ内ニのヨ夜ミ鳩シメ小連いイハ盤石ハあり。二里
計ハ廣カさ六十十步步計計馬バ小乗み往る來ゆシきシらシ。陸シホ満ミ
るト時キもフ深ニさニ尺尺五五寸寸計計。陸トひ己る己時時も己。陸クヌカ
の如お如や如り如。

○出雲風土記假字書

○九九

深瀬と志^知の尻

美佐嶋周二百六十歩。多々^レ四丈。推櫃^カ茅葺都波^ハ森

頭^ハ蒿^ギのり。

戸^トに刻^セ郡家^コ此正東^マ二十里^ニ一百八十歩。海^レのふり^非

と陸^ク地^カの^ハ。伯耆^ハ國內^ニ夜見^ヨ嶋^シのふり^レし^相向^向

むくところ^ト同^トなり。

栗^ク江^リ嶋^エ。夜^ヨ見^シ嶋^シのふ^レあ^レひ^レむ^レ入^セ。役^セ戸^トの^フ度^タ二百一十

六歩。嶋^サ乃^キ西^ニ々^シ入^イ海^イ嶋^ウち^サり。

凡^オ南^ホの入^イ海^ウの^所在^在。雑^クあ^レる^ノ。入^イ鹿^ル和^ワ爾^ニ須^ス受^シ根^キ

輜^ナ道^ヨ志^シ呂^ロ結^チ仁^ニ白^シ真^ロ海^ラ崩^ユ鯨^エ鯨^ビ海^ミ松^ルの^タ於^タい^ヒや^至

お^多り^ナ名^ナ取^テは^レく^レと^レな^レる^レ。

小^キら^タ大^オ海^ホ嶋^ウの^東々^サ大^オ海^ホ嶋^ウち^サり。及^猶西^ニより^東々^サ東^オ々^カふ

行^行く。

輕^コ石^ヒ嶋^シ。海^ニ藻^ギお^生へ。

大^オ嶋^ホ。破^イち^ツる。

宇^ウ由^ユ比^ヒ廣^ハさ^ハ八十^チ歩^ブ。志^シ毘^ビ魚^イ取^ツ捕^トる。

塩道渡。廣さ八十歩。志比の真ととる。ハチジフブ 鮪 捕

澹由比渡。廣さ五十歩。志比乃真ととる。ゴシフブ 鮪 捕

加努夜渡。廣さ六十歩。志比の真と捕る。カヌヤノハニ ヒロ ロクジフブ 鮪 捕

英保渡。廣さ一百六十歩。西小神社あり。少百姓ホノハニ ヒロ イチヒヤクロクジフブ ニシ カシノヤシキ キタ 森ミタカラ

の家あり。志比の魚をとる。イハ 鮪 捕

英保崎。周りをめぐりてさうりき岳ととる。ミホノサキマツリ 壁 崎 龜 岳

等々島。

志比。破ちり。

久毛等浦。廣さ一百歩。東よりあふり十船泊る。クモトノウラ ヒロ イチヒヤクブ ヒカシ ニシ ユ トラフネト

ベ。

黒崎。海藻あり。クロシニ ニギノ 生

這田渡。長さ二百歩。ハフタノハニ ナガ ニヒヤクブ

比佐渡。紫菜海藻あり。ヒサシニ ムラサキノリ ニギメ 生

長崎。紫菜海藻あり。ナガシニ ムラサキノリ ニギメ 生

比賣渡。破ちり。ヒメシニ イッ

結崎門。周二里三十歩。高さ一丈。松崎以都波。ユヒノシニ ト メグリニリ サムジフブ タカ イチジフヤシキ オノギ ツ

りる。

御若小嶋。坂あり。

質留比浦。廣さ二百二十歩。南々。神社。小ハ百姓の

家。二十船泊る所。

久宇嶋。周一里三十歩。多カ。七尺。猪推。白本。小竹

舞頭。芋。都皮。芋。りる。

加多比嶋。坂あり。

船嶋。坂あり。

屋嶋。周二百歩。多カ。二十丈。椿。松。葦。都皮。りる。

赤嶋。海。藻。あり。

宇氣嶋。海。藻。あり。

黒嶋。海。藻。あり。

栗嶋。周二百八十歩。多カ。一十丈。松。芋。都皮。りる。

玉結。廣さ一百八十歩。碁石。りる。東邊。小鹿。砥。あ

又。オホミタカラ。イハ。百姓の家。りる。

小嶋。周二百二十歩。多カ。一十丈。松。芋。都皮。りる。

り。

方結溪。廣さ一里八十歩。東西小家あり。

勝間崎。二窟あり。一々多き。一丈八尺裏の周一十

八歩。一ハ多き。一丈八尺裏の周二十歩。

旭嶋。周一百二十歩。多き。一十丈。杉皮。〇茂あり。

鳥嶋。周八十二歩。多き。一十八丈。多し。柵あり。

玉嶋。紫菜。海藻あり。

須我溪。廣さ二百八十歩。

衣嶋。周一百二十歩。多き。五丈。ちうちうがらち南

小船あり。往來。

稲上溪。廣さ一百六十歩。百姓の家あり。

稲積嶋。周三十八歩。多き。六丈。松木。小多し。此原あり。

ちうちうがらち南小船あり。往來。

大嶋。破ちり。

千酌溪。廣さ一里六十歩。東小松林あり。南方も

家。小方々百姓の家。那家。北東小一十九里。一百

ハチジラブ 所謂 八十七歩。ふくむいそゆる隠岐國小湊津見あり。

カシニメグリゴビラ 加志嶋。周五十六歩。高き三丈。松あり。

アカニメグリイナヒクブ 赤嶋。周一百歩。高き一丈六尺。松あり。

アレンウラハニヒロ 葦浦。廣さ一百二十歩。百姓家あり。

カサ イレ 笠石。

クロニメ 黒嶋。紫菜海藻あり。

カメニメ 亀嶋。紫菜海藻あり。

ツキニメ 附嶋。周二里一十八歩。高き一丈。椿松葦改葦葦第

都波りり。其齋頭蒿ハ。正月元日小六寸の長さ

に生ふ。

ヨシニメ 蘆嶋。紫菜海藻あり。中鑿て南小舟燈あり。

ニヤニメ 穴屋嶋。周六里。高き五丈。松あり。

ニワニメ 松嶋。周八十歩。高き一丈。松林あり。

タテニメ 立石嶋。破ちり。

ササキイソ 所謂 瀬崎。破ちり。いそゆる瀬崎の成これあり。

ヌナニメ 野浪。廣さ二百八十歩。東邊小神社あり。又百姓

の家^{イハ}なり。

増^{フル}嶋^{シマ}。周^{シユウ}二百一十步^{ニヒヤクイチジュウブ}。高^{タカ}九丈^{クチヤウ}。松^{マツ}なり。

間^マ嶋^{シマ}。海藻^{ニギメ}あり。

毛^モ都^ツ嶋^{シマ}。紫菜^{ムネキノリ}海藻^{ニギメ}あり。

川^{カハ}東^{トノ}門^{カド}大^{オホ}湊^{ミナト}。廣^{ヒロ}一里^{イチリ}一百步^{ヒヤクブ}。百^{オホ}姓^{シヤウ}の家^{イハ}なり。

黒^{クロ}嶋^{シマ}。海藻^{ニギメ}あり。

小^コ玉^{タマ}嶋^{シマ}。海藻^{ニギメ}あり。

加^カ賀^カ神^{カミ}嶋^{シマ}。即^即伊^イ賀^ハ。高^{タカ}一十丈^{イチジュウヤウ}。斗^ト周^{シユウ}五百^{イハヤ}

二^ニ步^ブ斗^ト。東^{トウ}西^シ北^{キタ}と通^通なり。所^所謂^謂伊^イ太^タ大^{ダイ}神^{カミ}

の所^所産^産生^生處^處なり。所^所産^産生^生臨^臨なり。

時^{トキ}小^コ弓^{ユミ}箭^ヤを^を射^セす。所^所産^産生^生祖^祖伊^イ太^タ大^{ダイ}神^{カミ}

所^所産^産生^生願^願なり。所^所産^産生^生願^願なり。

羅^ラ神^{カミ}の所^所産^産生^生願^願なり。所^所産^産生^生願^願なり。

其^{ソノ}時^{トキ}南^{ミナミ}北^{キタ}弓^{ユミ}箭^ヤ水^{ミヅ}の^のま^まに^に流^{ナガ}れ^レ出^デる^ル。其^{ソノ}

時^{トキ}所^所産^産生^生願^願なり。所^所産^産生^生願^願なり。

ら^らと^との^の所^所産^産生^生願^願なり。所^所産^産生^生願^願なり。

流 出来 即
 箭 ちよきいせく。すれをち待たまへく。聞 辯
 窟 ちうもとみり給ひて。射 通 坐 即
 ちち河祖支依加比比賣命の社 此處坐
 の人此窟のほらゆゆく時必聲をろか
 しく行く。若 密 行 船 覆
 らやちあさる。ゆくふひ必ららかへるちり。
 御 嶋 周 二 百 八 十 步。一 十 丈 中 東 西 通
 椿 松 栢 あり。

葛 嶋 周 一 里 一 百 一 十 步。五 丈 椿 松 小 竹 菰 葦 河
 柳 嶋 周 二 百 三 十 步。一 十 丈 松 林 あり。
 許 意 嶋 周 八 十 步。一 十 丈 松 林 菰 澤 あり。
 生 嶋 周 一 百 八 十 步。高 一 十 丈 松 あり。
 比 羅 嶋 紫 菜 海 藻 あり。
 玉 嶋 紫 菜 海 藻 あり。
 名 嶋 周 一 百 八 十 步。九 丈 松 あり。

赤嶋アカシマ紫菜ムラサキノリ海藻ニギメお生。

大崎オホサキ廣ノハニ一里イチリ一百八十步イチヒヤクハチジュウブ西ニシ小コ又マタ百姓オホミヤコの家イヘあり。

里。

須ス比崎ヒノサキ白ヲボケラりり。

御ミ津ツ廣ノハニ二百八步ニヒヤクハチブ百姓オホミヤコの家イヘあり。

三崎ミツサキ海藻ニギメお生。

虫津ムシツ廣ノハニ一百二十步イチヒヤクニジュウブ。

手結崎テユヅリサキ廣ノハニ小窟コイハりり。高タカ一丈裏イチヂヤウウラの周メクリ三十步サンジュウブ。檜ヒノキ。

ふフりり。

手結浦テユヅラ廣ノハニ四十二步シジュウニブ。船フネ二斗フタツ泊バカリる。

久ク字ウ周メクリ一百三十步イチヒヤクサンジュウブ。七丈シチヂヤウ松マツあり。

凡オホ水ミヅ海ウミ。所所補補。雜雑。志シ毘比。銷サメ。結結。蠶蠶。鳥鳥。城城。

塘タウ端ユ純ア菜サ螺エ蛤ウ貝ム。蚌蚌菜菜。棘ウ甲ニ羸ニ。石石經經子子。甲ワ高高羸羸。莖莖。

埋シ子子。螺螺。蠣カ子子。石石華華。作作蠟蠟於於脚脚者者。勢勢也也。白オ貝貝。

海ニ藻ギ海ミ松シ紫ム菜サ類ノリ海コ藻ルのモ孫バ。至至。蠶蠶。盡盡。

にニりり。

道通

意字郡オウノヨホリの坂サカヒ初酌アサクミノツタリ後ノふト通トホ一十一里二百二

海八十步ウミハチジフブ秋麻アキカノヨホリ郡サカヒ佐太サダノハシ橋トホ又通

里八十步リハチジフブ隠岐オキノ後ノ千酌チクミの孫家ウニヤ以ミ漢

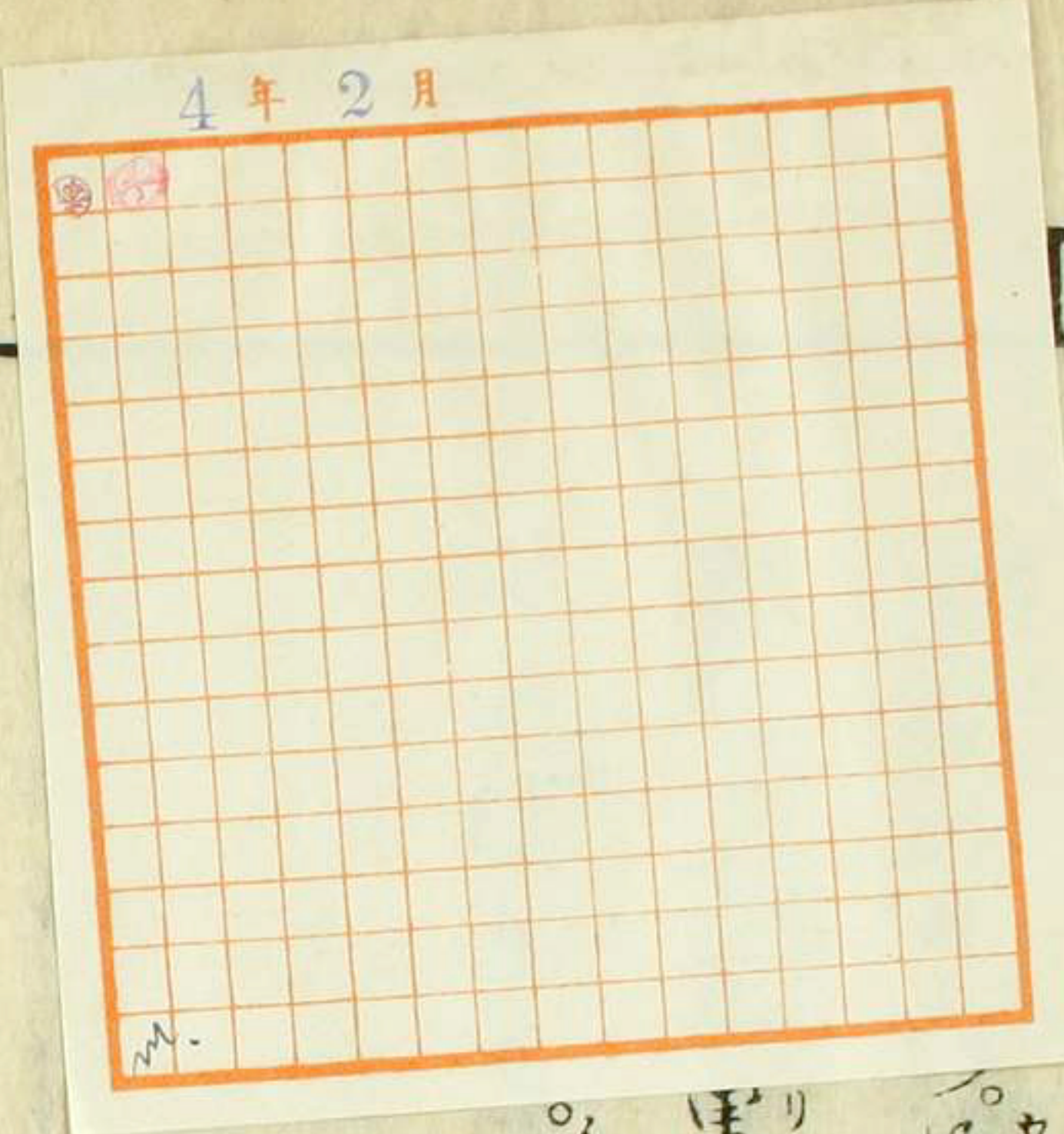
一十九里イチジウリ一百八十步イチハチジフブ

郡コホノツカサノサ用ヨウ重帳シウテウ無ム佐サ出雲イゲノ后オシ

大領外正六位下コホノツカサノサ社部シヤブ后オシ

小領外正六位上コホノツカサノサ社部シヤブ后オシ

重政シウシヤク后オシ六位下ロクイゲノ勲業クニノトコ懷朝イハハシ后オシ



意字郡オウラノヨホリの坂サカヒ初酌アサクミノワタリ後ノチふト通トホ一十一里二百二十イチジフイナリニヒヤクニ歩シラブのうらウラ海ウミ八十歩ハチジフブ秋麻アキカノヨホリ郡サカヒ太橋サダノハシ又トホ通トホ一十五里八十歩イチジフゴリハチジフブ隠岐オキノ後ノチ千酌チクミの孫家ウニヤはミナト漢ミナト又トホ通トホ一十九里一百八十歩イチジフククリイチヒヤクハチジフブ。

郡用皇帳無佐出雲后コホノウツタカサノサグワムムキイッヒノオミ

大領外正六位下社部后コホノウツタカサノオホイムツシノシロシチコソノオミ

小領外正六位上社部后コホノウツタカサノヒロシノシチコソノオミ

皇政后六位下勲業懷朝后コホノウツタカサノムツタケノシロシチコソノオミ

